

学校だより プラタナス



令和2年4月7日(火)

市川市立市川小学校
No.1 校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

これまでやったことのないことにチャレンジする！

今年度、信篤小学校から着任した蜂須賀と申します。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの感染拡大により、全校の児童と出会う機会が先延ばしにされてしまい残念な気持ちでいっぱいです。ただ、こうした中で子供たちの学習や生活の最大限の支援を考えなければなりません。家庭だけに任せたり学校任せにしたりするのではなく、家庭と学校それぞれができることは何かしっかり見つけ、連携を強化する機会にしたいと考えます。

新型コロナウイルスの影響はあちこちで聞かれます。公共施設やショッピングセンター等の閉鎖や自粛、テレワークの導入などこれまで経験したことのないことが起こっています。



新日本フィルハーモニー交響楽団も多大な影響を受けているそうです。新たな感染者を出さないためにも演奏会の中止は続きます。そうした中、「オーケストラにできることはないか？」と発足したのが「テレワーク部」です。最初は4人でスタートし、日を追うごとに参加者が増えていきました。最終的に、オーケストラ全体の約7割のメンバーが参加しました。

ところで、オーケストラの「テレワーク部」ってどういうものか想像ができません。簡単に言うと、各自が自宅や好きな場所で自分のパートの演奏動画を自撮りして、1本の動画に編集するというものです。誰もが未経験のチャレンジですから、「どうなるのだろう？」と不安を抱えたままスタートしたのでしょ。

演奏する曲は「パプリカ」でした。安定したビートで比較的合わせやすく、子供からお年寄りまで幅広い層に聴いてもらえる曲であるということ。そして何より、閉塞感が漂いネガティブになりそうな現状を忘れて明るくなれる曲ということで選ばれたそうです。

たとえプロであっても、自撮りで演奏しながら、しかも誰かとアンサンブルすることを想定するというのは並大抵のことではないことが想像できます。

こうして演奏された「パプリカ」がYouTubeで視聴できます。4人の演奏から始まったものがどんどん人数を増やして、作り上げられていく過程に感動すら覚えます。もし、お時間に余裕があったらご覧になってください。



私自身、着任してから数日ですが、机上の整理をする暇もなく様々な対応に明け暮れています。ほかの教職員も同様です。「子供たちのためにできることは何か」、「どうすることで学校再開時にスムーズなスタートが切れるか」、刻々と変わる状況の中で考え行動しています。

「外出を控えなければいけない状況だからこそできることは何だろう」と、みんなで考えたいと思っています。新日本フィルの皆さんのように、これまでやったことのないことにチャレンジする機会にもできます。私自身、「校長だからこそできることって何だろう」に答えを見つけたいと思います。